

## 検討シート

## 台風による土砂災害を対象とした避難タイムライン

時間 (目安)	施設の防災体制		タイミング・判断基準	防災行動(例)	役割分担 (◎主体、○行動支援)			備考
	体制区分	タイムラインレベル	土砂災害					
-120h (5日前)	注意体制	タイムライン発動	<input type="checkbox"/> 台風が発生し、佐賀県(南部・北部)で早期注意情報の「暴風」「大雨」で「高」または「中」の日があるとき	<input type="checkbox"/> 台風・防災気象情報の収集を開始 <input type="checkbox"/>				
		レベル1 災害への心構えを高める		<input type="checkbox"/> タイムライン発動を職員に周知 <input type="checkbox"/> 台風・防災気象情報を収集 <input type="checkbox"/>				
-48h (2日前)	警戒体制	レベル2 災害モード意識に切替 (台風対策の実施)	<input type="checkbox"/> 佐賀県に台風が接近又は上陸する恐れが高くなったとき	<input type="checkbox"/> 対策会議を開催 <input type="checkbox"/> 防災資機材と備蓄品の確認・点検 <input type="checkbox"/>				
-24h (1日前)			<input type="checkbox"/> 大雨注意報が発表されたとき	<input type="checkbox"/> 防災気象情報の収集体制を強化 <input type="checkbox"/>				
	警戒体制	レベル3 災害発生への恐れ	<input type="checkbox"/> 警戒レベル3(高齢者等避難)が発令されたとき ※台風の場合、安全に避難できるように気象警報等が発令される前に早めに市町から避難情報が出されることがあります。	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/> 事前に指定された管理職及び職員は参集 <input type="checkbox"/>				
			(土砂災害)	<input type="checkbox"/> 施設外の安全な場所に避難開始 <input type="checkbox"/> 避難の準備開始 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 大雨警報(土砂災害)が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設周辺の様子を定期的に確認 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報が発表されたとき	<input type="checkbox"/> 土砂キキクル(危険度分布)を定期的に確認 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 警戒レベル4(避難指示)が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/>				
	非常体制	レベル4 (全員避難) 災害発生への恐れが高い	(土砂災害)	<input type="checkbox"/> 施設内の安全な場所に避難開始 <input type="checkbox"/> 避難の準備開始 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 警戒レベル5(緊急安全確保)が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/>				
			<input type="checkbox"/> 土砂災害の前兆現象が確認されたとき	● 施設内の安全な場所に直ちに避難 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告				

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル5(緊急安全確保)は、必ず発令されるものではありません。

※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれず常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。

記入例

施設の所在地が唐津市・伊万里市・玄海町・有田町は「北部」、それ以外の市町は「南部」に○をします。

風水害から命を守るための最小限の防災行動（例）が示されています。必要に応じて防災行動の追加や行動内容を修正するなどして、タイムラインを充実させましょう。

時間 (目安)	施設の防災体制		タイミング・判断基準	防災行動（例）	役割分担 (◎主体、○行動支援)			備考
	体制区分	タイムラインレベル	土砂災害		施設長	防災リーダー	当直責任者	
-120h (5日前)	注意体制	タイムライン発動	□ 台風が発生し、佐賀県（南部・北部）で早期注意情報の「暴風」「大雨」で「高」または「中」の日があるとき	<input type="checkbox"/> 台風・防災気象情報の収集を開始 <input type="checkbox"/> タイムライン発動を職員に周知 <input type="checkbox"/> 台風・防災気象情報を収集	○	◎		役割分担では、防災行動を“誰が”行うかを検討しましょう。それぞれの防災行動に対して、主体的に行動する人は「◎」、行動を支援する人は「○」を記入します。
		レベル1 災害への心構えを高める		<input type="checkbox"/> 対策会議を開催 <input type="checkbox"/> 防災資機材と備蓄品の確認・点検	○	◎		
-48h (2日前)	警戒体制	レベル2 災害モード意識に切替 (台風対策の実施)	□ 佐賀県に台風が接近又は上陸する恐れが高くなったとき	<input type="checkbox"/> 防災気象情報の収集体制を強化	◎	○		
-24h (1日前)		レベル3 災害発生への恐れ	□ 大雨注意報が発表されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡 <input type="checkbox"/> 事前に指定された管理職及び職員は参集	○	○	◎	
			（土砂災害）警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設外の安全な場所に避難開始 <input type="checkbox"/> 避難の準備開始 <input type="checkbox"/> 避難先の指定緊急避難場所に連絡 <input type="checkbox"/> 避難支援協力者に協力要請 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告	○	○	◎	
	□ 大雨警報（土砂災害）が発表されたとき		<input type="checkbox"/> 施設周辺の様子を定期的に確認	○	○	◎		
	□ 土砂災害警戒情報が発表されたとき		<input type="checkbox"/> 土砂キキクル（危険度分布）を定期的に確認	○	○	◎		
	非常体制	レベル4 (全員避難) 災害発生への恐れが高い	□ 警戒レベル4（避難指示）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡	○	○	◎	
			（土砂災害）土砂キキクル（危険度分布）で施設がある地域が「うす紫」（非常に危険）になったとき	<input type="checkbox"/> 施設内の安全な場所に避難開始 <input type="checkbox"/> 避難の準備開始 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告	○	○	◎	
		レベル5 (緊急安全確保) 災害発生又は切迫	□ 警戒レベル5（緊急安全確保）が発令されたとき	<input type="checkbox"/> 施設長に報告及び全職員に連絡	○	○	◎	
			□ 土砂災害の前兆現象が確認されたとき	● 施設内の安全な場所に直ちに避難 <input type="checkbox"/> 避難の開始 <input type="checkbox"/> 避難完了を自治体に報告	○	○	◎	

施設外に避難するタイミングを記入します。

施設内の安全なスペースに避難するタイミングを記入します。

※本タイムラインはあくまでも目安です。タイムラインどおり起きるとは限りません。なお、警戒レベル5（緊急安全確保）は、必ず発令されるものではありません。

※災害を引き起こす自然現象を対象としているので、防災気象情報や施設周辺の状況に応じて、タイミング・判断基準にとらわれず常に「命を守る」ことを念頭に臨機応変に行動しましょう。